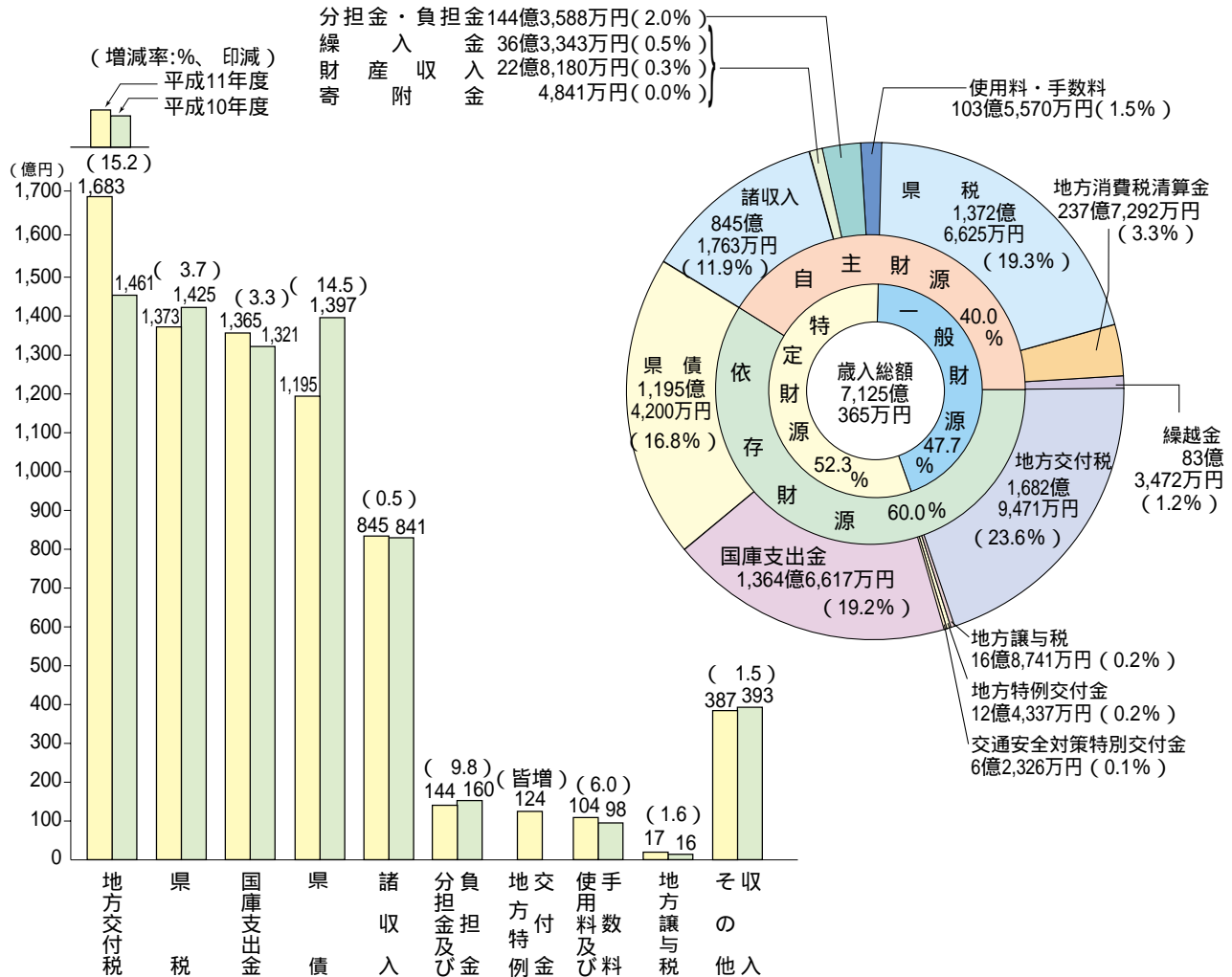


一般会計の歳入・歳出それぞれに詳しく教えてください。

一般会計歳入の状況



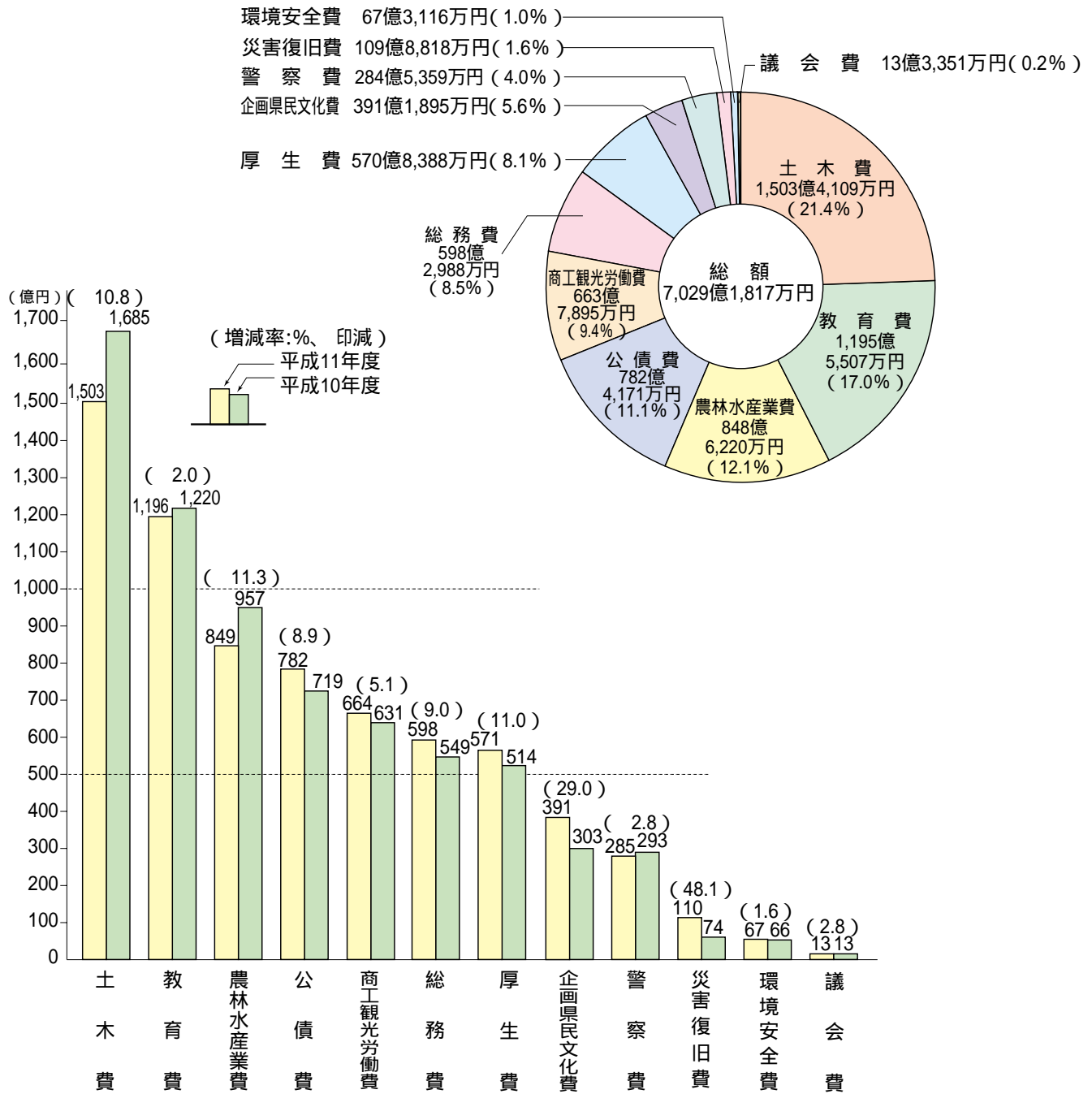
地方交付税は、県税の減少や県債の償還に対する交付税措置が増加したことなどにより、対前年度比15.2%、222億2,624万円の増となりました。

県税は、法人事業税が恒久減税の影響と景気の低迷により大幅に減少（37億6,400万円の減）したほか、不動産取得税の減少（11億1,700万円の減）などにより、対前年度比3.7%、52億3,200万円の減となりました。

県債は、借換債や県税の減収を補う減収補てん債の減などにより、対前年度比14.5%、202億300万円の減となりました。

地方特例交付金は、恒久減税による減収の一部を補うため、平成11年度新たに創設されたものです。

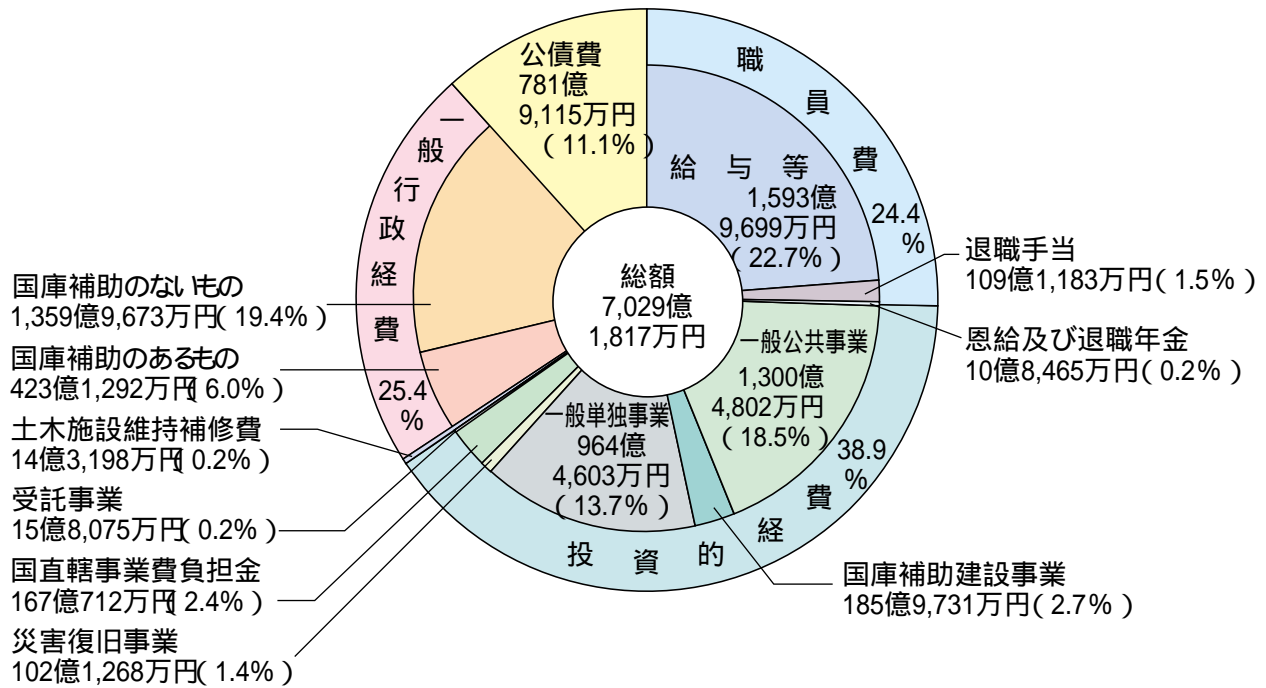
一般会計歳出の状況（目的別（款別）内訳）



歳出を目的別（款別）にみると、構成比では土木費の21.4%が最も大きく、次いで教育費17.0%、農林水産業費12.1%となっております。

企画県民文化費は、県立音楽堂の建設などにより29.0%の増となったほか、厚生費は、県立看護大学の開学準備により11.0%の増となりました。

一般会計歳出の状況（性質別内訳）



| | 7,029億1,817万円 | | | |
|--------|--------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|
| 平成11年度 | 1,713億9,348万円 (100.1) | 2,735億9,190万円 (96.1) | 1,783億965万円 (102.8) | 781億9,115万円 (108.9) |
| | 職員給与等 | 投資的経費 | 一般行政経費 | 公債費 |
| | | | | 土木施設維持補修費 |
| 平成10年度 | 1,711億6,793万円 (100) | 2,845億5,223万円 (100) | 1,734億8,468万円 (100) | 718億520万円 (100) |
| | | | | 土木施設維持補修費 |
| | | | | 14億4,041万円 (100) |
| | 7,024億5,046万円 | | | |

（注）各性質別の予算額の計は、四捨五入のため合計に一致しません。

歳出を性質別にみると、構成比では投資的経費38.9%、一般行政経費25.4%、職員費24.4%となっております。

投資的経費は、一般単独事業の減少により3.9%の減となり、公債費は、8.9%の増となっております。